

# ハイパーサーバサービス

## Let's Encrypt(無料 SSL)の設定

- Let's Encrypt を利用してホームページやウェブメール SSL 保護する方法についてご案内します。
- お手元に「FITWeb ハイパーサーバご利用開始のお知らせ」(以下「通知書」)をご用意ください。

### ■ Let's Encrypt を設定します

- ① ブラウザ(Microsoft Edge など)を起動します。  
通知書の「コントロールパネル情報」項目に記載されている「コントロールパネル URL」をブラウザのアドレス欄に入力します。



- ② ログイン画面が表示されます。  
通知書の「コントロールパネル情報」項目に記載されている「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。  
「ログイン」ボタンをクリックします。

A screenshot of the FITWeb HyperServer login page. The page has a dark blue header with the text "FITWeb ハイパーサーバ" and a globe icon. Below the header, there are two input fields: "ユーザ名" (Username) and "パスワード" (Password). The "パスワード" field has a toggle icon for visibility. Below the input fields is a blue "ログイン" (Login) button. At the bottom, there are three links: "どのユーザ名とパスワードを使用しますか?" (Which username and password do you use?), "パスワードを忘れた場合" (Forgot password), and "Plesk の Cookie ポリシー" (Plesk's Cookie Policy).

- ③ ハイパーサーバサービスの諸設定を行う為の、「コントロールパネル」のメイン画面が表示されます。「ウェブサイトとドメイン」タブの「SSL/TLS 証明書」をクリックします。

- ④ SSL 証明書の設定画面が表示されます。「インストール」をクリックします。

⑤ Let's Encrypt SSL 証明書の設定画面が表示されます。

メールアドレスを入力し、SSL 証明書で保護したいサービスにチェックを入れて「無料で取得」をクリックします。

ワイルドカードドメインを保護(www とウェブメールを含む)	チェックしない
ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める	チェックする
このドメインでウェブメールを保護	チェックする
メールドメインに証明書を割り当てる	チェックする

## example.fitweb.net の SSL/TLS 証明書



Let's Encrypt は、所有するドメイン用に無料 SSL/TLS 証明書を作成できる認証局 (CA) です。続行すると、Let's Encrypt ご利用条件を読み、同意したことになります。  
注：証明書は有効期限の 30 日前に自動更新されます。

メールアドレス \*

info@fitweb.or.jp

重要な通知や警告を受け取るには、有効なメールアドレスを使用してください。

ドメイン名を保護  
example.fitweb.net

ワイルドカードドメインを保護 (www とウェブメールを含む)  
\*.example.fitweb.net

ドメインにおよび選択された各エイリアスに「www」サブドメインを含める  
www.example.fitweb.net

このドメインでウェブメールを保護  
webmail.example.fitweb.net

メールドメインに証明書を割り当てる  
example.fitweb.net の IMAP、POP、SMTP

無料で取得

キャンセル

## ■ ホームページが SSL 証明書で保護されていることを確認します

手順④でホームページを保護するよう設定した場合に確認を行ってください。

- ⑥ ブラウザをもう 1 画面起動し、アドレス欄にお客様のホームページの URL(<https://www.~>)を入力し、ホームページが表示されることを確認してください。

SSL 証明書が正しく設定できていない場合は、セキュリティ警告画面が表示されます。



## ■ ウェブメールが SSL 証明書で保護されていることを確認します

手順④ウェブメールを保護するよう設定した場合に確認を行ってください。

- ⑦ ブラウザをもう 1 画面起動し、アドレス欄にウェブメールの URL(<https://webmail.~>)を入力し、ウェブメールのログイン画面が表示されることを確認してください。

SSL 証明書が正しく設定できていない場合は、セキュリティ警告画面が表示されます。

